

# 「炎症性中枢神経疾患における自己抗体の同定」研究 について

## 1. はじめに

炎症性中枢神経疾患とは、多発性硬化症や視神経脊髄炎や急性散在性脳脊髄炎などという  
名前の病気を指します。東北大学神経内科では、これらの病気の原因を研究しています。これ  
らの病気の原因が患者さんの血液にあるかもしれないと考えています。

## 2. 何のための研究か

あなたの病気の原因が、血液の中に含まれる「自己抗体」とよばれるたんぱく質によるものか  
どうかを調べます。

## 3. 何をするのか

腕にある血管に針をさし、血液を採ります。できるだけ、いつもの血液検査と同時に行います。  
採った血液は、成分にわけた後、東北大学神経内科の実験室において、「自己抗体」があるかど  
うか調べます。カルテから性別、年齢、病気を患っている期間、重症度、臨床検査の結果、治療  
内容などを参照し、自己抗体のあるなしと関係があるかどうか調べます。

## 4. 採った血液について

あなたの血液はこの研究以外の目的では使用いたしません。あなたの名前などがわからないよ  
うにして保管します。

## 5. そのほか

この研究に協力するかどうかはあなたの自由です。断っても構いません。一度協力して  
もいと決めた後でも、いつでも止めることはできます。研究の成果は、あなたの名前などが  
一切わからない状態で、学会などで発表されます。

## 6. 連絡先

東北大学病院神経内科外来

電話 (022)-717-7735

東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座神経内科学分野

電話 (022)-717-7189

主治医氏名

研究担当者氏名

東北大学大学院医学系研究科多発性硬化症治療学寄附講座

三須建郎